

2022年社友会秋の懇親会

・実施日 2022年11月16日(水) 午前10時 ・場 所 奈良県橿原市

・第1部

散策コース 橿原神宮前駅 ～ 橿原神宮～若櫻友苑～神武天皇陵

見学コース 橿原神宮前駅 ～ 橿原考古学研究所附属博物館

・第2部 懇親会 大和ロイヤルホテル 12時30分～

司会進行 松田事務局長

開会挨拶・乾杯 嶋本会長

見学コース説明(13時30分頃から約20分) 内海春樹(2579)

ビンゴゲーム

中締め挨拶 森 顧問 終了解散 14時30分

1. 橿原市について

総人口約 120,000 人と奈良市に次ぐ県下第二の都市である。

・橿原神宮 ・神武天皇陵 ・藤原京跡 ・大和三山 ・今井町 など

2. 橿原神宮

初代神武天皇及び皇后を祀るため 1890 年(明治 23 年)

4 月 2 日に官幣大社として創建された。

1940 年(昭和 15 年)には昭和天皇が同神社に行幸し、日本各地で
紀元 2600 年奉祝式典が挙行された。

その後も天皇・皇后両陛下を始め皇族の参拝が続いている。



橿原神宮内拝殿

3. 若櫻友苑 (昭和 48 年 11 月開園)

太平洋戦争末期、海軍飛行機搭乗員として若い命を国に捧げ海に
消えた第13期海軍予科練習生出身の1000有余名の御霊を祀る
「甲飛13期殉国の碑」が建てられ、さらに昭和19年10月フィリピン、
レイテ湾作戦に参加し、沈没した航空母艦「瑞鶴」の戦没者を祀る碑が
生存者や遺族の手によって「殉国の碑」と並び昭和53年に建てられた。



若櫻友苑

4. 橿原考古学研究所附属博物館

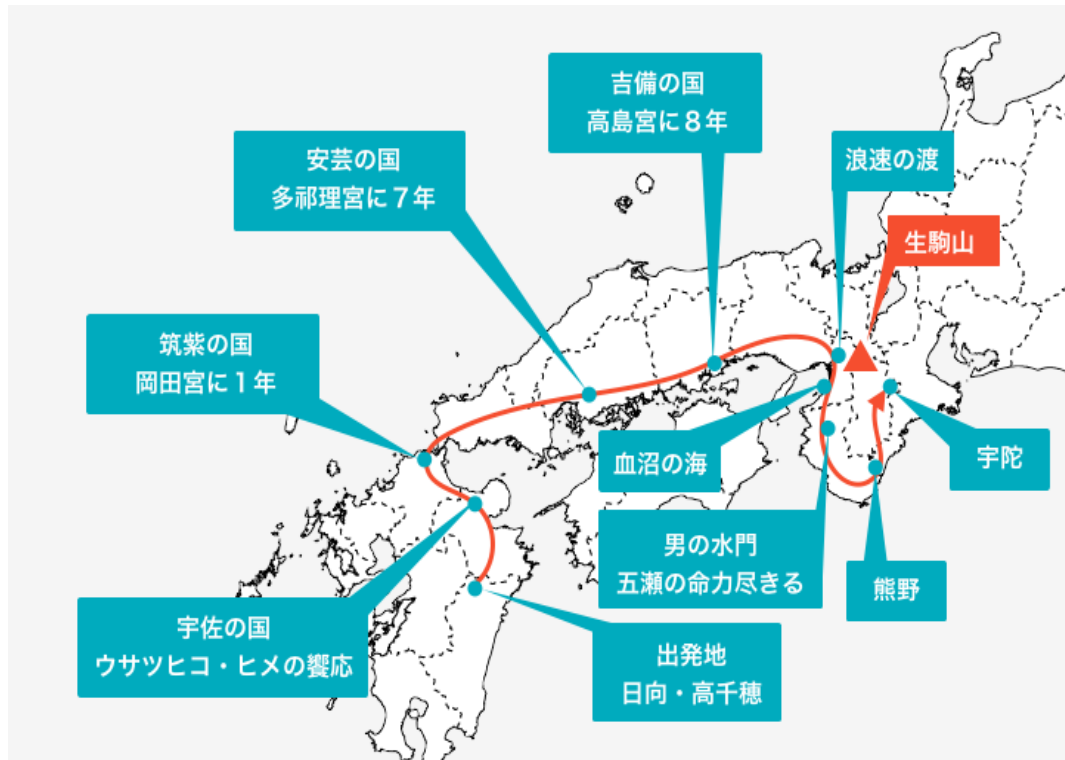
「皇紀 2600 年記念事業」の橿原神宮外苑整備事業に伴い橿原遺跡調査の
ため、京大の故末永雅雄博士が事務所を設けたのが始まりで我が国最古の
考古学研究所になる。高松塚古墳、藤ノ木古墳などの発掘が有名でこれらの
発掘された遺物を一般公開するため博物館を開設された。(1974 年)



橿原考古学研究所附属博物館

5. 神武天皇東征について

この道のりは、古事記によると 2698 年前、初代神武天皇となる“カムヤマトイハレビコノミコト”が高千穂宮を旅立ち
橿原で即位するまでのものです。（古事記では 16 年、日本書紀では 6 年の旅程だったとかかかれている）
イハレビコの東征は 126 代続く皇室と、歴代天皇が治める日本の始まりとなるものです。



「神武天皇東征のルート」



「金鷄」を掲げる神武天皇

① 神武天皇の生い立ち

天照大神の五世孫として高千穂で生誕。皇子原神社

15歳で立太子となる。名前 狭野命

45歳の時、もっと稲作が広められる良い土地がないか問う。

翁いわく「東方に美しく青山が四方をめぐる天下を治めるにふさわしい所がある」と進言。三人の兄たちも賛同。



高千穂の峰

② 東征への出発

男女 1000 余人の軍団で日向 美々津港から出発。

立磐神社で航海の安全祈願。

昭和の時代「海軍発祥の地」として日本海軍米内大将の碑が立つ。



海軍発祥地の碑

③ 宇佐の国に寄る（大分）

土地の豪族「ウサツヒコ」のもてなしをうける。

ここも天孫降臨の土地「一社膳宮」

の高千穂の峰八幡宮」全国 4 万の八幡宮の総本宮が創建。

④ 筑豊の国（北九州）

岡田宮で 1 年滞在 “天”“地”“人”の三ノ宮を祀る。

⑤ 安芸の国（広島）

7 年滞在 宮を作る 多家神社。



宇佐八幡宮

⑥ 吉備の国（岡山）

8年滞在 宮を作る 高島宮。

⑦ 浪速の国（大阪）河内湖に入り生駒山を超え大和を目指す。

大和の豪族“長髓彦”の抵抗を受け合戦になる。

兄の“五瀬命”が深手を負い撤退、海は血で染まり“血沼の海”

⑧ 紀の国「男之水門」で 兄 五瀬命が亡くなる。

「我々は太陽の子なのに太陽に向けて矢をうった、これが敗因
攻める場所を変えるように」

⑨ 熊野へ向かう航海中ひどい嵐に会い難破寸前に。

二人の兄は「私たちは天の子・海の子なのになぜ海の神は
私達を苦しめるのか」と言って自害すると嵐は治まった。

⑩ 熊野 楯ヶ崎に上陸

兄3人を失ったイハレビコは長男と共に熊野那智の大滝に参拝。
ここから大和に向け進軍、道に迷ったとき「八咫鳥」が現れ先導。
進軍を妨げる「大熊の神」など苦労を重ねるが神々が助ける。

⑪ 大和宇陀で宿敵「長髓彦」と対決

この合戦もイハレビコ軍は苦戦したが、突然“鵄”がイハレビコのもつ矢に停まり金色に輝く。これに長髓彦の兵は気を失い決戦を制した。



五瀬命の墓 龜山神社



熊野灘 楯ヶ崎



那智の大滝

- ⑫ 数々の苦勞の末、大和畝傍山麓に宮を構え、
紀元前 660 年 2 月 11 日初代天皇として即位。
その地に明治 23 年橿原神宮が創建される
明治天皇から京都御所の建物を賜り、本殿とする。
平成 30 年両陛下から、特製の“鏡”を下賜される。



鏡“橿原の社”

(参考地)平和台公園の平和の塔

昭和 15 年神武天皇即位紀元(皇紀)2600 年を祝うため「八紘一宇」の精神を体現した塔を神武天皇ご縁の地宮崎に建造した。

工事には中国・台湾・朝鮮など内外から石材を集め、延べ約 6 万人の労働により昭和 15 年 11 月 25 日に完成した。

戦後昭和 21 年に GHQ の命により、太平洋戦争に結びつくとして「八紘一宇」の碑文と武人の象徴像が撤去された。

昭和 40 年に保管されていた「八紘一宇」の文字が正面に復元された。

四方に“武人”“商工人”“農耕人”“漁人”の四神像が信楽焼で配置されている。

神武天皇が述べた「八紘一宇」という言葉を、陸軍が戦意高揚のために利用したため「八紘一宇」があたかも太平洋戦争を招いたと考えられた。神武天皇のお考えは、世界の人々が家族のように互いに助け合い平和に暮らせるよう願ったもので戦さのためのものではない。



平和の塔

資料作成 内海春樹(2579)